

アイーナ指定管理者選定・評価委員会の評価項目（案）

資料 3-2

施設の設置目的	
I	新しい時代の多様なニーズに対応し、交流と連携を生み出す施設
II	岩手の情報受発信力を高める施設
III	21世紀を担う心豊かな「岩手のひと」を育む施設
IV	ゆとりとうるおいのある岩手ならではの生活文化を創造する施設
V	岩手の新しいシンボルとなる施設

評価項目（施設の設置目的を実現するための取り組み）		当事者評価	
区分	主な業務要求水準・提案	指管	県
① 快適な利用環境の創出 【6項目】	1 【総合受付】 来館案内、その他受付関連業務	-	-
	2 【清掃】 清掃業務全般	-	-
	3 【その他】 サイン類	-	-
	4 【その他】 地域との連携	-	-
	5 【その他】 新型コロナウイルス感染症への対応	-	-
	6 【その他】 新型コロナウイルス感染症への対応（新しい生活様式への対応）	-	-
② 利用者の声の反映 県民参加型の施設運営 【4項目】	1 【企画運営】 イベント企画・運営（賑わいの創出、円滑なイベント運営）	-	-
	2 【広聴広報】 広聴広報活動の企画・立案（意見の聴取）	-	-
	3 【その他】 利用状況の把握	-	-
	4 【その他】 利用者の苦情処理	-	-
③ 入居施設間の有機的な連携 【2項目】	1 【企画運営】 イベント企画・運営（入居施設間の交流・連携）	-	-
	2 【各入居施設との連絡調整】 有機的運営の方策（運営協議会、センター長会議等）	-	-
④ 県民への情報提供 （県内全域へのサービス提供） 【5項目】	1 【広聴広報】 広聴広報活動の企画・立案（施設のPR、県民プラザの運営）	-	-
	2 【広聴広報】 ホームページ企画・製作・管理・運営	-	-
	3 【広聴広報】 印刷物作成	-	-
	4 【広聴広報】 その他、広聴広報活動（広報ボードの運営、テレビ・ラジオ広報）	-	-
	5 【自主事業の実施・運営】 自主事業の実施・運営（いわてヒューマンギャラリーの運営）	-	-
⑤ 適切な施設運営 【4項目】	1 【統括】 危機管理対応	-	-
	2 【維持管理】 維持管理業務全般	-	-
	3 【警備】 警備業務全般	-	-
	4 【その他】 改善計画の取組（コンプライアンス）	-	-

- ※ 「当事者評価」欄は、指定管理者（指管）及び県がそれぞれ実施した自己評価の結果。自己評価の評価指標は以下のとおり。
 A：協定書、提案書等の内容について高レベルで実施され、また、計画を上回る実績（効果）があり、優れた管理がなされている。
 B：概ね協定書、提案書等の内容どおり実施され、計画どおりの実績（効果）があり、適切な管理が行われている。
 C：一部、改善・工夫を要する事項が見られたが、改善済み、または改善される見込みである。
 D：協定書等の内容に対し、不適切な事項が認められ、改善を要する。

【全21項目】